

第2回ドイツ大学訪問調査ご参加のご案内

◆日程(案)◆

2014年10月12日(日)
東京発、(午前)ミュンヘンへ
10月13日(月)
Kick-Off Meeting
10月14日(火)
LMU Munich 訪問調査
10月15日(水)
Technical University Munich
訪問調査
10月16日(木)
Heidelberg University
訪問調査
10月17日(金)
KIT Karlsruhe Institute of
Technology (KIT) 訪問調査
文化プログラム
10月18日(土)
ドイツ発(午後)
10月19日(日) 東京着(昼着)

◆全行程、大学マネジメント研究会
会長 本間政雄、(株)IRIS科学・技
術経営研究所Dr. I.ヴィーツォレック
社長が同行し、調査団のエキス
パート・コーディネーターを行います。
また、訪問時の意見交換は、原則
英語で行いますが、適宜要約を
逐語通訳します。

◆費用(予価)◆

一人約550,000円(税別)
(定員15名)
(詳細は裏面へ)

◆エキスパート/コーディネーター の紹介◆

Dr. I. ヴィーツォレック

(株)IRIS科学・技術経営研究所

代表取締役社長

25年以上にわたる日本に関わる研
究・実務経験、日本とドイツの異なる
機関の間での科学交流への従事、日
本とヨーロッパのサイエンスコミュニ
ティでの広範かつ信頼できるネット

ワーク、サイエンス
マネジメントの該
博な知識と実務経
験、ドイツ研究振
興協会(DFG)日本
代表部代表(2008-
2012)、2012年8月
に現在の会社を
設立。



Dr. I. ヴィーツォレック

◆主催:大学マネジメント研究会

調査団長: 本間政雄(大学マネジメント研究会会長
(学)梅光学院理事長、(学)関東学院常務理事)

◆エキスパート/コーディネーター:Dr. I. ヴィーツォレック

(株)IRIS(International Relations In Science)科学・技術経営研究所
代表取締役社長(元DFG(ドイツ研究振興協会)日本代表部代表)



本間政雄研究会会長

ドイツの大学 調査・訪問の趣旨 「研究と産学連携」の成功事例に学ぶ

◆今日の教育の市場化と激化する競争的環境の中で、世界中の大学は、いかにして優
越性を確保するかという共通の課題に直面しています。競争力維持ためには組織改革
が必要となりますが、民主的意思決定という長い伝統を持つ大学にとって、組織の根本
的改変は簡単ではありません。フンボルトの理念(教育と研究の一体化)の導入により、
現在の日本や世界の大学の原型となっているドイツの大学もまた、同様の経験をしてき
ました。

◆しかし、今世紀に入り、危機感を持ったドイツの各州政府と連邦政府働による「エクセ
レンス・イニシアティブ」という大学研究プログラムによって、若手研究者の育成、特定研
究領域への重点助成、組織戦略を確立した大学への改革支援が開始され、これを契機
に一挙に改革が進みました。

また、EU圏内各国の学位制度を標準化し、共通の単位制度を導入して圏内及びEU外
の各国の学生交流の促進を目指した「ボローニャ・プロセス」にドイツの大学は積極的
に参加し、各大学の留学生比率が平均10%を超えるなど国際化の進展にも著しいもの
があります。

これらの結果、タイムズ紙の国際大学ランキングTOP100には、日本を上回る4大学が
ランクインし、ドイツ1位のハイデルベルグ大学の順位は東京大学とほぼ同じとなりまし
た。

言語の問題もあり、これまで大学のガバナンスや組織戦略、教学改革の外国調査を行
う場合、多く米国、英国等のアングロサクソン諸国が主な対象となっており、我が国の大
学と共通の課題を多く抱えていながら、ドイツの大学の状況はあまり知られていません
でした。

◆そこで、大学マネジメント研究会は、ドイツ研究振興協会日本代表部の前代表であ
るイリス・ヴィーツォレック博士と共に、ドイツの大学の改革のあり方こそ我が国の参考
になるという考えの下、昨年10月に第1回のドイツ大学訪問調査を行いました。

(京都大学、福井大学、室蘭工業大学、慶應義塾大学、大阪経済大学、東北学院大学他から9名が参
加。ベルリン大学、ベルリン自由大学、ドレスデン工科大学、ハンブルグ大学、ハンブルグ応用科学大
学、アーヘン工科大学を訪問。ベルリンでは、ドイツ学長会議と共催で「伝統と革新」をテーマにワー
クショップを開催。詳細は、「大学マネジメント」誌2014年2月号参照)

◆今回は、ドイツの大学ランキングTOP3大学を中心に、大学ガバナンス、組織戦略、
研究推進、産官学連携等をテーマに訪問調査・視察を行います。事前にドイツの大学の
状況について予備知識を持った上で、ドイツ・ヨーロッパだけでなく、日本の大学事情に
精通しており、豊富な人脈を持つヴィーツォレック博士がアドバイザーとして全工程同
行しますので、有意義な旅になると思います。

◆貴学からのご参加を心よりお待ちしております。

大学マネジメント研究会 会長 本間政雄

【実施概要】

1. 期 間： 平成26年10月12日(日)～10月19日(日) [6泊8日]
2. 訪問大学： ミュンヘン大学(Ludwig Maximilian University Munich)、ミュンヘン工科大学(Technical University Munich)、カールスルーエ工科大学(KIT: Karlsruhe Institute of Technology)、ハイデルベルグ大学(Heidelberg University)
3. 対 象： テーマに関心のある方ならどなたでも参加できますが、特に大学運営、国際交流、研究戦略、産官学連携に関わっているか関心のある方々(国公私立大学の学長、理事長、副学長、理事、事務局長、学部長、部課長など大学運営、教学運営の責任者及び企業、団体関係者)
4. 参加費： 参加者1名につき 55万円(1ユーロ140円換算)
[参加費に含まれるもの]①航空運賃(ルフトハンザ航空(予定)・エコノミークラス利用)、②ホテル宿泊料金(1人部屋利用)、③視察・移動における現地交通費(飛行機、専用バス)、④渡航手数料(空港税、燃油代含む)、⑤団体行動費(チップ、ホテルレジ、入場料等)、⑥食費(朝食7回、昼食3回、夕食1回/これ以外各自負担)、⑦ガイド・アシスタント、⑧事前事後の勉強会、計2回、⑨調査費、⑩調査報告書作成
※国際線ビジネスクラスご希望の場合は、50万円の追加代金で承ります。
※宿泊ホテル 未定
※別途、保険(エマージェンシー)にご加入いただきます。
※為替の変動が大きい場合は後日清算させていただきます。
5. 定 員： 15名様限定(最少催行人数：8名)
6. 申込方法： 申込書に所要事項をご記入の上、E-mail,FAX,郵送のいずれかの方法で下記宛てお送りください。[締切日：9月5日(金)]
e-mail: info@anum.jp FAX 03-3239-7904
郵送：〒102-0074 千代田区九段南4-6-1-203 大学マネジメント研究会宛
7. お支払方法： お申し込み後、請求書をお送りしますので、下記口座にお振込ください。
三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店(店番014)
口座番号 1340838
口座名義 大学マネジメント研究会 会長 本間 政雄
8. キャンセル料： 9月11日まで 0円
9月12日～10月9日まで 参加費用の20%
10月10日～10月11日まで 参加費用の50%
調査団発後または無連絡不参加 100%
9. 旅行取扱 株式会社エイチ・アイ・エス(観光庁長官登録旅行業第724号)
〒163-6011 東京都新宿区西新宿6-8-1 新宿オークタワー11F
TEL: 03-5908-3225